

核燃と原発に反対する女たちのデモ

285回目のデモのおしらせ

私たちは31年前のチェルノブイリ原発事故をきっかけに「核燃と原発」に反対してデモを続けています。青森県には六ヶ所再処理工場、東通原発、たつ布中間貯蔵施設、大間原発など日本の原子力施設が集中しています。この先地震や津波などで、いつ、大事故がおきるかわかりません。

青森には豊かな自然があり、農産物、海産物があります。私たちは放射能で汚染された故郷を子供たちや孫に残すことができません。このデモはあくまで個人の自主的なものです。歩く時は「かいかんまいね」といってワークシート、横断幕を持ち、フラカードやマイクを持ちます。人数は少ないのですが、「核燃反対」の意思表示をし続ける事は大切な事だと思います。チェルノブイリ原発事故も福島原発事故も決して他人事ではないと思っています。

<デモ>

記

4月22日(土) 偶数月の第4土曜日

- ・弘前大学正門前 午後3時30分出発
- ・デモのコース 弘前大学正門前→土手町→桜大通り
(約2km 所要時間約60分)

<核燃と原発に反対する女たちのデモ・放射能から子どもを守る母親の会事務局 倉坪>

